

2023年9月29日

アセットマネジメントOne株式会社

## 投資先企業の資本効率向上に対する アセットマネジメント One の考え方、取組みについて

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 杉原規之、以下「AM-One」）は、投資先企業の資本効率向上に対するAM-Oneの考え方およびその取組みについて、以下のとおりお知らせします。

AM-Oneでは、企業との建設的な対話（エンゲージメント）や議決権行使といったスチュワードシップ活動において、事業ポートフォリオマネジメントや資本政策を最重要課題の一つとして位置付け、投資先企業に働きかけて参りました。社会のサステナビリティと投資先企業の持続的な企業価値向上を両立させるためには、企業が保有している資産、資本を有効活用し、商品・サービスの提供や株主還元を通じて広く社会にリターンを還元することが重要との考え方によるものです。

具体的には、国内株式の議決権行使に関するガイドラインおよび議案判断基準に、一定水準のROE確保を求めるなど業績に関する基準を設定しています。剰余金処分、政策保有株式についても、利益の社会、投資家への還元の視点や、資本効率、コーポレート・ガバナンスの観点から基準を設けています。

ただし、実際の議案判断におきましては、単に議案判断基準に沿って賛否を決定するだけでなく、エンゲージメントにおける対話の内容等も踏まえた議決権行使を行います。エンゲージメントにおきましては、事業戦略や資本政策に関する課題認識を企業と共有した上で、「具体的に何をすべきか」との観点から対話を行っています。

プライム市場上場企業ではPBRが1倍を下回る企業が多く見られるなど、資本効率改善に対する企業の取組みは道半ばの状況と認識しています。AM-Oneでは投資先企業の資本効率改善に対する取組みを後押しするために、議決権行使の厳格化を図ることで投資先企業の企業価値向上につなげていきたいと考えています。

今年度の議決権行使では上記背景を踏まえ、資本政策に関する株主提案に対し、投資先企業の状況（業績・剰余金処分・資本の蓄積状況等）を精査したうえで個別に判断し、一部議案に賛成票を投じました。来年度の議決権行使に関するガイドラインおよび議案判断基準の改訂におきましては、投資先企業の資本効率の向上を促すべく、政策保有株式基準の厳格化を実施するとともに、議案判断にあたり参照する各種資本効率性・株主還元の指標の見直しを含めて、議決権行使に関するガイドライン・議案判断基準の一段の引上げを行ってまいります（具体的な内容は、今年度第4四半期に公表予定です）。

また、エンゲージメント活動においては、保有する経営資源や資本に対して利益水準が十分でない企業に対し、事業ポートフォリオマネジメントの強化や資本政策の最適化の観点で対話を深めてまいります。ESGアナリスト・議決権担当・各資産のアナリストが連携し、投資先企業の理解を促しつつ、資本効率改善と企業価値向上に向けて従来以上に強く働き掛け、投資先企業の変革に伴走していきます。

以上

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOneは、2016年10月に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約65兆円と国内有数の規模を誇ります。当社がこれまで培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、「投資の力で未来をはぐくむ」をコーポレート・メッセージに掲げる資産運用会社として、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略 等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

※運用資産残高は2023年6月末時点。

商号等／アセットマネジメントOne株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業